

【1 分解説】Guidance for generative AI in education and research とは？

総合調査部 政策調査グループ課長補佐 鄭 美沙

Guidance for generative AI in education and research (直訳「教育・研究分野における生成 AI のガイダンス」)とは、2023 年 9 月に UNESCO (国連教育科学文化機関) が初めて公表した、教育・研究に関する生成 AI のグローバルガイダンスです。

本ガイダンスは、2021 年の UNESCO 総会で採択された「人工知能の倫理に関する勧告」に基づき、生成 AI の「人間中心」の活用を提唱しています。具体的には、生成 AI の定義・説明、倫理的・政策的な論点と教育分野への示唆、規制の検討に必要なステップ、カリキュラムデザインや学習、研究における創造的な活用の可能性、長期的な影響等について紹介しています。各国政府には、データプライバシーの保護を含む適切な規制や教員研修等を求めているほか、ほとんどの生成 AI が主に大人向けに設計されていることから、授業での使用は 13 歳以上に制限すべきとの提案もしています。

ガイダンスの締め括りでは、生成 AI を教育と研究に役立てるべきとしつつ、AI を含むテクノロジーによって人間の能力を高め、包摂的なデジタルの未来を築くには、人間中心のアプローチが不可欠であることが強調されています。